

2024  
8

## Miss Japan News

ミス日本ニュース

2024年9月3日発行 vol.233  
一般社団法人ミス日本協会

ミス日本

## 8月の活動ピックアップニュース

8月5日

8月1日水の日記念  
ワークショップと打ち水

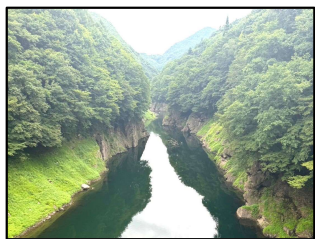
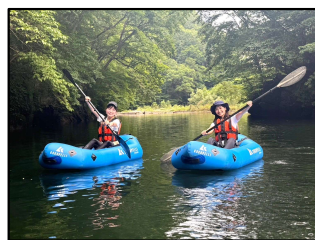
ミス日本「水の天使」安井南が、科学技術館にて開催された8月1日水の日を記念したワークショップイベントに登場しました。以前**取得した水教育資格「プロジェクトWET」を活用**し、集まった子どもたちに昔と今の水を比べて考えたり、水の使用方法が時代とともに変化してきたかを考えます。**子どもたちに水を深くわかりやすく考える機会を提供**しました。打ち水式では、酷暑といわれる今年の夏の暑さを和らげるため、みんなで一緒に打ち水。まもなく訪れた涼風に、その効果を体感しました！

8月11日

やまなしの山の日  
みどりの大使が案内役

ミス日本みどりの大使の安藤きらりが、8月11日の山の日を記念して、山梨県は清里で開催された自然体験ツアーに案内役として登場しました。以前**取得した自然体験活動指導者資格「NEAL」を活用**し、キープ協会の支援の下で森林の観察をしながら、木の周辺環境の違いを比べたり、花の蜜をみつけて味わったり、木陰で寝転がって自然の映像を楽しんだり、五感をフル活用したプログラムを実施。避暑に訪れた観光客の方々に、1時間のプログラムがまるで数分に感じるくらい、**濃密で深みのある癒やしの時間を提供**しました。

8月22日

アウトドアのみなかみ満喫！  
雑誌「山歩みち」体験取材

群馬県みなかみ町はアウトドアのメッカです。来年2025年用の広報素材撮影のため、水の天使安井がモデルとなり、パックラフトに挑戦しました。1人用の船に乗り、湖畔に漕ぎ出すと、カラダが自然に動いて、すぐに自在に船を操れるようになります。ラフティングやSUPのように水辺で涼を感じるアクティビティの楽しさを、カメラいっぱい表現しました。掲載は2025年初夏です。

8月28,29日

次回大会ファイナリスト  
東9名、西2名が選出

2025ミス日本に出場するファイナリストを選ぶため、地区大会が開催されました。今後は勉強会で3つの美を磨きます。

◆東日本地区9名（県名は出身地）  
長尾巴菜子(19歳大阪)、高坂実優(20歳東京)  
野村真衣子(21歳茨城)、高橋彩乃(20歳千葉)  
横山ナディア(22歳長野)、松山華音(21歳愛知)  
佐塚こころ(18歳長野)、ヤマチ玲良(20歳埼玉)  
石川満里奈(18歳東京)

◆西日本地区2名  
安東帆香(22歳大阪)、佐々木成美(24歳東京)  
※9月中に全国最終補選を行い、2名を追加する予定です。

8月1日

下水道展2024東京  
東亜グラウト工業ステージ



水の天使安井が、先月末から開催している下水道展の3日目に登場。下水道の管メンテナンスで都市生活を支える東亜グラウト工業のブースにて、女性職員とのトークショーに参加しました。女性の働き方について、会社としてどんな対応をしているか紹介され、女性の社会活躍を推進していく姿が示されました。

8月8日

地下世界の最先端研究  
G&U研究センター視察



突然の豪雨によりマンホールから吹き出す水。そうした摂理を研究・解明する研究所に水の天使安井が視察しました。マンホールの改良の歴史も学び、地下世界の理解が進みます。

8月1日

能登半島地震チャリティー  
Kグループプレセプション



水の天使安井が、管清工業をはじめとする水関連企業Kグループが主催するレセプションに司会として登場しました。会は能登半島地震のチャリティーとしてオークションを開催。書道家の紫舟先生がライブで作品を完成させていきます。圧巻の筆致に参加者一同目を奪われておりました。

8月21日

スポニチフォーラム  
女性アスリートの心とカラダ



スポニチ主催のフォーラム。今回のテーマは女性アスリートのコンディショニング。女性ならではの問題に対してどう科学的にアプローチするか、指導者側の理解について話し合われました。懇親会に登場したミス日本の2人はパリ五輪での日本勢の活躍について、親近感や感動を感じたことをお話しました。

8月3日

かながわトラストみどり財団  
やどりき水源林の集い



神奈川県の子どもたち数百人を対象にした森林体験イベントが開催。みどりの大使安藤が司会や学習ブースに登場しました。生活に欠かせない清らかな水は、豊かな水源林がもたらしてくれます。安藤は水源林の浄水・保水効果を学ぶ実験ブースで子どもたちに説明したり、河川敷での生物観察会を案内したり、子どもたちの夏休みの思い出づくりに貢献しました。

8月21日

おさかなの祭典！  
ジャパンインターナショナルシーフードショー



日本のシーフード海産物の祭典がビックサイトにて開催！ミス日本「海の日」有馬佳奈がOP鏡割り式典に登場しました。会場では美味しい海の幸を、そこかしこで試食できます。改めて地域ごとに違う名産、魚介の種類を学びながら、会場歩きを楽しみました。

8月6日

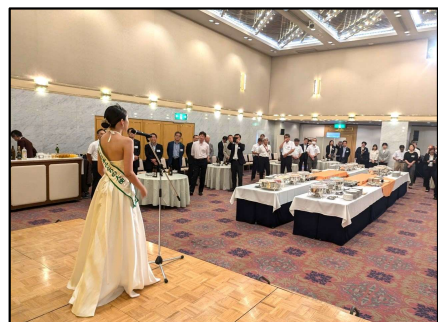
東京都下水道サービス  
設立40周年記念式典司会



東京都の下水道を支える企業の40周年記念式典、総合司会に水の天使安井が登場。1000万人都市を支えてきた功労者の皆さまに感謝状が贈られました。

8月21日

全国緑化推進委員会連絡協議会  
任期半年を振り返って



みどりの大使安藤が、47都道府県の緑化推進委員会担当者を前に、任期半年を振り返ってスピーチ。NEAL資格やこども向けイベント企画等、任期後半も力を尽くします！

## 8月の活動

- 1日 下水道展2024東京 東亜グラウト工業ステージ出演/安井  
Kグループプレゼンテーション/安井  
3日 かながわトラスと やどりき水源林の集い /安藤  
5日 8月1日水の週間 水のワークショップ展示会 /安井  
6日 東京都下水道サービス設立40周年記念式典 /安井  
8日 G&U技術研究センター 視察学習/安井  
11日 やまなしで過ごす山の日フェスタ2024/安藤  
21日 スポーツニッポンフォーラム ゲスト/有馬,石村  
ジャパンインターナショナルシーフードショー/有馬  
全国緑化推進委員会連絡協議会 ゲスト/安藤  
22日 群馬県みなかみ町 山岳雑誌「山歩みち」取材/安井  
28日 第57回ミス日本コンテスト東日本地区大会  
29日 第57回ミス日本コンテスト西日本地区大会

## 8月のメディア掲載

- 2,9,23,30 【WEB】 FITNESS LOVE ミス日本便り活動掲載  
28日 【WEB】 東日本地区大会の結果報道  
スポーツニッポン,東京スポーツ,スポーツ報知  
オリコン,Deview,アクトレスプレス,  
フィールドキャスター,その他複数のサイトで報道あり  
29 【新聞】 スポーツニッポン スポニチフォーラム/有馬,石村  
【新聞】 スポーツニッポン 東日本地区結果報道  
8月 【冊子】 日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/安井  
【冊子】 林野庁「情報誌林野」寄稿/安藤  
【冊子】 日本海事広報協会「海プラス1 通信」寄稿/有馬  
【冊子】 全日本海員組合「海員」寄稿/有馬  
【冊子】 日本下水道施設管理業協会「維持管理」  
インタビュー掲載/安井  
【冊子】 日本の水を守る会「清流青湖」寄稿/安井,有馬  
【冊子】 武道館「月刊武道」寄稿5p/大会委員長和田あい

## 9月の活動予定

- 7,8日 山梨県 第36回下水道ふれあいまつり/安井  
10日 国交省 循環のみち下水道賞 表彰式/安井  
12,13日 全国森林組合職員連盟 全国研究集会 講演/安藤  
14日 全国燃料協会 炭フェスタ2024 ゲスト/安藤  
21日 全国森林組合連合会 森林の仕事ガイダンス /安藤  
22,23日 水上バイク・特殊小型船舶免許講習/有馬  
25,26日 あきた森林づくりカレーうどん商品発表会/安藤  
27日 中日本会技術交流会/安井  
28日 東京湾大感謝祭 水ブースPR/安井  
サザエさん一家もりのわ吹き出しコンテスト表彰式/安藤  
29日 水の天使感謝の集い/現役・歴代水の天使13名

@@@専務理事・和田健太郎の編集後記@@@

東西2地区の審査が終わり、後は敗者復活にあたる補選を残すだけとなりました。ミス日本の大会では地区大会の通過人数を決めていません。それぞれの大会で良い人がいたら通す、という形のため、地区大会終了後に補選を行って人数調整をしています。

さて、ここから述べることはあくまで私個人の考えです。審査は本当に水物だと感じます。もし大会を行って合否がなくても、翌日にもし同じ大会を繰り返したなら、結果は異なっているでしょう。それはコンディションだったり、あるいは運命のめぐり合わせみたいなものです。今年のパリオリンピックでもメダルを期待されながら惜しくも届かなかった選手がおり、逆もまたありました。このように「競技」の結果は必ず同じ結果に収束するものではないと思います。

つまり、運が絡んでいます。ただし、運否天賦の運ではありません。結果(運)を出すための過程は常に変わらないからです。ネットで拾った言葉ですが

「幸運とは、準備と機会が出会ったときに生まれる

(古代ローマ・セネカ)」

とありました。オリンピックにしろミス日本などのミスコンにしろ、まさにこのとおりだと思います。

地区大会に出場した方々は、全員が素晴らしい資質をもっていました。責任者としてそれを断言できます。悔しくもファイナリストに残れなかった方々も、次にどこかで「幸運」に出会えるように、準備を怠らず、機会の獲得に努めてほしいと願っています。